大学名	帯広畜産大学

第64号 特集テーマ「地域の中核となる大学」

表題	「企業等集積プラットフォーム」による大規模農業地域の産学連携活動の活性化と研究成果の地域還元

帯広畜産大学産学連携センターでは、大学と企業等の交流を促し、研究開発コンソーシアムの形成を通じて、共同研究などの産学官金連携活動を推進し、研究成果を社会実装につなげるため、令和3年3月に「企業等集積プラットフォーム」(以下、本PF)を設立した。
令和4年4月現在、58機関の企業等が本PFに参画している。

本PFでは、本学の研究情報を参画機関へ発信するニュースレターの発行に加え、地域のステークホルダーからの要望の高いテーマ(「スマート農畜産」「未利用農林水産資源活用」など)について、20～30人規模で本学教員と密な交流ができる「産学官金連携交流会mini」を開催している。

加えて、大学独自資金による「地域共創ファンド」を設け、共同研究の加速や研究コンソーシアムの立ち上げを支援することで、企業等の地域のステークホルダーと本学教員の効果的なマッチングを図り、大学をハブとした一対多の産学官金連携の場を構築している。

本学は、「学生1,000人あたりの地元企業との共同研究数」の項目において1位を獲得する(日経グローカル, No.422, 2021.10.18, P34-37)など、強みである地元企業との連携を通じた地域貢献の分野で既に高い実績を上げている。

本PFを地域ニーズを的確に捉えた地域貢献・社会実装活動を行うきっかけ作りの場として活用し、地域のステークホルダーとの対話機会を増やすことにより、大規模農業地域である北海道・十勝地方において、研究成果の地域還元機能のさらなる強化を図る。

▲企業等集積プラットフォームの概要図

▲産学官金連携交流会miniを開催

・参考URL

帯広畜産大学企業等集積プラットフォームHP
http://univ.obihiro.ac.jp/~platform/